

第8回 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議ワーキンググループ
議事要旨

1. 日時：平成28年2月24日（水）09:30～10:30

2. 場所：官邸4階大会議室

3. 出席者：

菅内閣官房長官（座長）、石井国土交通大臣（座長代理）、世耕内閣官房副長官、萩生田内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、古谷内閣官房副長官補、松永内閣官房内閣審議官、蝦名内閣官房内閣審議官、山崎内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官、安藤総務省大臣官房総括審議官、井上法務省入国管理局長、下川外務省大臣官房国際文化交流審議官、佐川財務省関税局長、村田文化庁文化財部長、樽見厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長、岩本農林水産省農村振興局審議官、安藤経済産業省商務情報政策局長、奥主環境省自然環境局長、田村国土交通省観光庁長官

4. 議事概要

○個別テーマ（宿泊、観光地域、景観・まちづくり、地方への人流を創出する交通体系、観光人材・観光教育）について、田村観光庁長官より参考事例を説明するとともに、各府省庁より検討状況を説明。主な内容は以下の通り。

【観光庁】

- ・既存の施設等の積極活用により、外国人旅行者の急増に伴う大都市のホテル不足を速やかに解消するとともに、多様な旅行ニーズに合わせた宿泊施設を提供していくため、旅館等に対する投資促進、空室情報の提供、宿泊産業従事者の人材育成などを進めていく。
- ・「民泊サービス」について、平成27年11月、観光庁と厚生労働省の共同事務局により、『民泊サービス』のあり方に関する検討会」を立ち上げ、早急なルールづくりに向けて検討を進めている。
- ・景観に配慮した観光まちづくりのため、景観計画の作成、無電柱化の推進、広域観光周遊ルート内での都市周遊ミニルート等の選定によるパッケージでの重点支援を進めていくとともに、民間のまちづくり活動支援のため、宿泊施設の整備に着目した容積率の緩和制度の創設、観光バスと空き駐車場等とのマッチング、広告物規制の運用弾力化等を進めていく。
- ・広域観光周遊ルートについて、専門家チーム派遣のほか、テーマ別ルートや都市内ミニルートの設定を行っていく。
- ・DMOの行う取組の紹介やDMOを担う人材の育成など関係省庁とも連携して、

支援策を充実させていく。

- ・ ICT を活用した訪日外国人の観光動態調査について手引きを作成、公表していく。
- ・ 東北復興のため、観光の魅力を国内外へ発信し、誘客を促進する。
- ・ 空港コンセッションを進めるとともに、着陸料軽減による地方空港への LCC・チャーター便の就航促進に取り組んでいく。
- ・ クルーズ船寄港の受入環境を整備するとともに、ラグジュアリークルーズの誘致を図っていく。
- ・ 「地方創生回廊」創設に向けて、ジャパンレールパスの日本での購入を可能とするとともに、新幹線駅の観光拠点化を進めるなど、地方への送客を図る。
- ・ 新幹線などのインターネット予約を可能とするとともに、東京 23 区におけるタクシー初乗り運賃の引下げ、駅ナンバリングを実施していく。

【厚生労働省】

- ・ 民泊サービスについて、昨年秋、観光庁と検討会を立ち上げており、一緒に検討を進めていく。

【内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局】

- ・ 世界水準の DMO を 2020 年までに全国で 100 形成・確立するという政策目標に向けて、「DMO クラウド」の開発・提供、地域とマーケットのマッチングと人材育成、交付金・官民連携のファンドによる財政支援を展開していく。

【経済産業省】

- ・ 観光情報発信プラットフォームをつくり、外国人旅行者の行動履歴の収集、活用を図っていく。
- ・ 世界各国の口コミ情報を元に企業の新商品の開発等を支援していく。
- ・ DMO 設立と同時に創設される地域観光ファンドに対して、クールジャパン機構などの政府系のファンド等から資金支援を行っていく。
- ・ 地域の観光資源相互の連携による新たな広域観光ルートを開拓していく。
- ・ 商店街を中心に免税店支援、Wi-Fi の整備、多言語化等の受入環境整備を進める。
- ・ 観光 MBA について、文科省とも連携しながら、2020 年度以降、観光 MBA の卒業生が輩出できるよう環境整備を進める。
- ・ 観光産業におけるおもてなしの認証制度を創設し、サービス業における認証取得を推進する。

【文部科学省】

- ・ 産業界のニーズを踏まえ、大学における実践的・専門的なプログラムの新規開発に着手し、観光人材、経営人材の育成にしっかり取り組んでいく。

○各省庁からの説明を受けて、訪日外国人旅行者の増加は成長戦略・地方創生につながることから、報告された施策についてスピード感をもって取り組むこと、観光ビジョン構想会議のとりまとめに向けてスピードを上げて検討を進めていくことが共有された。

○次回日程については追って連絡することとし、閉会となった。

以 上